



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

# 松本純 まちかど政治瓦版



令和元年12月1日号  
発行  
かながわ  
1区支部  
発行責任者  
平木 茂

12月号  
2019年  
No.204

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

## 安全保障と新時代の経済関係にあわせた外為法改正

### 問われる法律基準 日本独自の「技術」を守り、国家の「未来」を護るため

今年に入り、「輸出管理」という言葉がメディアでよく取り上げられています。韓国との諸問題をはじめとして、ファーウェイ問題でもこれが大きな焦点となっています。

これは世界的な輸出管理強化の流れに沿ったものです。政府としては2017年に外為法を改正し、世界に先駆けて、武器転用可能物資や技術などの移転防止を厳格化し、危険な国や対象に資金が渡らないようにする法律を作りました。しかし、欧米などはこれよりも厳しい基準の法律を成立させ、わが国でもそれに対応する法律の施行が急務でした。



自民党ルール形成戦略議員連盟のまとめ役の甘利議員と同連盟に所属する松本代議士

「経済安全保障」経済と安全保障は一体であり、経済だけが独り歩きしているわけではありません。米国では2018年国防権限法という法律で、安全保障に基づく経済活動を明確化し、欧州でも2019年3月にEU新規制を発表しました。これは安全保障にかかわる分野での外国企業の投資等を規制するものであり、日本もそれに対応する必要がありました。

自民党としては、わが派閥の甘利明議員を中心に自民党ルール形成戦略議員連盟を作り、これに対応できる仕組みづくりを進めてきました。政府は国家安全保障局内に経済分野を担当する部署を作ることを決定しました。そして、今国会で外国人や外国企業による安全保障にかかわる特定分野への投資に関して、事前審査が必要とする外為法の改正を行いました。

世界の情勢が不安定化する中で、世界各国との連携がより重要となっており、日本も責任ある行動が求められています。また、日本には日本でしか作れない、日本にしかない技術が多数あり、それを守り発展させてゆくことが安全保障であり、国家の未来を作ることにつながります。松本としても、これを支えてゆきたいと考えています。

#### 事前届出対象業種

##### ●国の安全

武器、航空機、原子力、宇宙関連、軍事転用可能な汎用品の製造業、サイバーセキュリティ関連

##### ●公の秩序

電気・ガス、熱供給、通信事業、放送事業、水道、鉄道、旅客運送

##### ●公衆の安全

生物学的製剤製造業、警備業

##### ●我が国経済の円滑運営

農林水産、石油、皮革関連、航空運輸、海運

いま地域で  
(人・まち・出来事)

「アイメイト」をご存知ですか？

横浜アイメイト支援基金事務局長 和田 實さん(磯子区)

「アイメイト」とは盲導犬のことです。この「アイ」には三つの意味があります。「I私、LOVE愛、EYE目」。つまり「私の・愛する・目」の仲間、それが「盲導犬」なのです。磯子区でさまざまなボランティア活動を行う和田實さん(74)は、日本で初めて盲導犬を育てたアイメイト協会の創設者・塩屋賢一さんと出会った時、全く視力の無い人が白杖や同伴者を伴わず「本人と犬のみで単独歩行ができる」社会を目指す思いを意気を感じ、平成18年「横浜アイメイト支援基金」を創設、自ら事務局長として支援活動を始めました。

小学校での盲導犬活動の紹介や街頭での募金活動、和田さん自身も盲導犬になる子犬の飼育活動を行うなど、多岐にわたる活動の中、メインとなるのは平成13年にボランティア仲間と始めた「みなとみらいアイメイトチャリティーコンサート」です。国内のクラシック音楽家たちに支持され、多くの音楽ファンたちの共感を呼んだこのコンサートはすでに18回を数え、アイメイト協会への支援金額は5,100万円を超えました。「それでも、まだまだ介護犬を連れていて『迷惑になる』と入店を拒否される事例が多いのです」と語る和田さん。「アイメイト」が市民権を得るための支援活動はさらに続きます。



和田實さん。チャリティーコンサートで

[2019年11月]

松本議員の活動記録

- 1日●与野党国対委員長会談  
●国会対策正副委員長打合せ
- 2日●チャリティーライブー令和一ミステリー肥田バンド
- 3日●朝比奈斌氏個展オープニングパーティー
- 5日●議院運営委員会与党理事懇談会  
●予算委員会与党理事懇談会
- 6日●党・政治制度改革実行本部・衆議院改革実現のためのPT第1回役員会
- 7日●本会議
- 8日●実践倫理宏正会懇談会
- 11日●自民党横浜市連感謝の集い2019新たな時代を切り拓く
- 12日●衆参与党国対
- 13日●神奈川県農協青壮年部協議会要望説明
- 14日●社会保障制度調査会役員会



11/1 神奈川県看護連盟国会見学会  
●県看護連盟恒例の国会見学会が実施され、奥本信子連盟会長、横浜第2支部から三澤さみ子支部長など59名の看護士の皆様に参加、松本純代議士と意見交換がなされました。



11/4 ドレミ開店40周年記念謝恩パーティー●松本純代議士から「佐々木叔子さんの生き方は私のお手本です。ご縁を結び、ご縁を尊び、ご縁に従う、瞬間の40年でした」との祝辞がなされました。



11/9 日ノ出町青年会45周年記念パーティー●吉田祐輔会長より「青年会は近隣の町内会や団体と共に一つのチームとして頑張ります」との挨拶に、松本純代議士からは青年会活動への感謝と激励がなされました。



11/11 国会見学会～湘南六浦自治会福和会様●国会見学会代表の村田秀雄さんをはじめ日々地域活動に携わる皆様に、松本純代議士は国政における地域と密接に関わる災害支援などの実情を報告しました。

永田町日記

予算の作り方

政府の一番の仕事は予算づくりです。行政も予算が無ければ動きません。翌年の予算づくりは、1月の通常国会で政府予算案を提出したところから始まります。各省庁が事業計画を作り、民間などからの意見を取り入れ、それを積み上げてゆきます。これを積算作業と呼びます。その上で、8月下旬に政府に対して概算要求を行うわけです。そして、財務省と折衝し、実際の予算案が練られてゆきます。

12月下旬の原案が出来上がり、実際にどの事業を行うかを定める「個所付け」が行われます。そして、与党と協議し、政府予算案として、1月の通常国会に提出されます。また、これとは別に災害対策や景気対策など臨時の予算もあり、これは補正予算という形で通常国会だけでなく、臨時国会にも提出されます。本年の場合、災害が多く予備費を使い切っている為、通常国会に冒頭で災害対策の補正予算が提出される予定になっています。



予算委員会と与党理事懇談会にて